

がん研究会ゲノムセンターでは  
全国の選定された施設から送付されたがん臨床検体に対する  
網羅的ゲノム・エピゲノムの受託解析を行っています

### 【研究課題名】

次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム：がん臨床検体の統合的ゲノム・エピゲノム解析

### 【研究の目的】

がんは先進国における成人の最大の死因であり、有効な治療法も多くありません。がんに対する有効な診断法・治療法を確立するためには、皆さんからご提供いただいたがん検体において、遺伝子全体を調べてがん細胞の遺伝子異常を特定し、がん化に関わるメカニズムを明らかにする必要があります。

この目的を達成するために、平成23年度より新たに、文部科学省「次世代がん研究戦略推進プロジェクト」が開始されました。がん研究会ゲノムセンター内に解析を支援する組織「支援基盤」を設置し、全国より選定された研究者が保有するがん臨床検体に対して、網羅的ゲノム・エピゲノム解析を行い、様々ながんにおける具体的な発がん機構を解明することを目指しています。

### 【対象となる患者さん・試料】

- 次世代がん臨床シーズ育成グループに属する施設の各研究者（次頁に一覧を掲載）が、それぞれの施設において研究についての説明を行い、**本研究への参加に同意を頂いた患者さん**を対象としています。
- 次世代がん臨床シーズ育成グループに属する施設（次頁に一覧を掲載）に**保存されている既提供試料**（診療上の目的で採取した組織に対して、遺伝子解析研究への利用に関する同意を頂いた検体）。既提供試料の利用は、採取施設の研究倫理審査委員会にて同試料のゲノム・エピゲノム解析が承認された場合にのみ、がん研究会で解析を行います。

**本研究会に送付される試料には、  
患者さんの個人情報（氏名・住所・電話番号等）は含まれていません。**

### 【研究への参加を拒否したい場合】

ご自身の試料等がゲノム・エピゲノム解析研究に利用されることについて拒否を希望される方は、お手数ですが、**遺伝子解析研究に関する同意を行った病院もしくは担当医（次頁に一覧を掲載）にお問い合わせください**。その場合、お申し出頂いた施設からがん研究会に対し、あなたの試料（凍結組織検体、DNA、RNA）や情報（試料に関連する医療情報、遺伝情報）を廃棄するために必要な情報（匿名化番号）が連絡されます。試料は、がん研究会から提供先の施設に返送し、各施設において倫理審査委員会により認められた適切な方法で廃棄の処理を行います。また、がん研究会が保有するあなたの情報は、痕跡が残らない形で完全に消去・抹消いたします。

ただし、研究が進展し、結果が公表・公開されている場合や、試料・情報があなたのものと特定できない状態（連結不可能匿名化）になっている場合は、試料・情報を廃棄できない場合があります。

がん研究会で受託解析をする、あるいはその予定のがん臨床検体提供機関

課題名	所属機関	研究代表者
再発性乳がんの特徴的な新規遺伝子変異の同定	東京医科歯科大学	三木 義男
食道扁平上皮癌の新規治療標的分子と 診断バイオマーカーの同定	東京医科歯科大学	稲澤 譲治
肝がんの多施設検体コホートに基づく 難治性規定分子の同定と分子標的治療の開発	東京医科歯科大学	田中 真二
大腸がん治療反応性を予測する バイオマーカーの探索	東北大学	石岡 千加史
卵巣がんにおける化学療法効果規定因子の探索	岩手医科大学	杉山 徹
[参加施設]		
①鳥取大学	紀川 純三	
②久留米大学	嘉村 敏治	
③慈恵会医科大学	落合 和徳	
④慶応義塾大学	青木 大輔	
⑤東北大学	八重樫 伸生	
⑥聖マリアンナ医科大学	鈴木 直	
⑦新潟大学	八幡 哲郎	
⑧弘前大学	横山 良仁	
⑨順天堂大学	寺尾 泰久	
⑩東海大学	平澤 猛	
⑪四国がんセンター	松元 隆	

※検体提供施設が変更になる場合は、改めてお知らせいたします。

ご不明な点がございましたら、下記窓口にご相談ください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人がん研究会 がん研究所 遺伝子診断研究部

電話番号：03-3570-0455

E-mail：[p-direct.mc@ml.jfcr.or.jp](mailto:p-direct.mc@ml.jfcr.or.jp)

[広報窓口]

〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31

公益財団法人がん研究会 広報部

電話番号：03-3570-0397